

EMによる環境教育

プール清掃から環境学習そして学校給食へ

NPO法人奥越EM環境浄化の会 理事長 小林 貢

「設立趣旨」

当法人は、地域の食・農・環境を生産者が一緒に考え行動し、有機循環型地域づくりを促進し、自然の営みを尊び、地域農産物の地場消費事業、花いっぱい運動の展開と、普及事業などを行い、環境の保全と明るい社会作りに寄与する事を目的として、平成19年4月2日に設立しました。



「活動内容」

当初は、大野の朝市に自然農法の野菜を会員の生産者と協力して、定期的に販売しておりました。また、当法人は活動拠点が九頭竜川の上流に位置しておりますので、九頭竜川の河川の浄化運動を中心に活動を展開したいと、毎月赤根川よりEM活性液を流しております。

その後、北陸EM普及協会の講師の方に環境学習の講義を頂き、それを契機に平成20年より、大野市の有終東小学校へのEM活性液の投入、大野市教育委員会や福井新聞社からも取材があった。大野市及び、勝山市の11校と環境学習に合わせプール清掃にEMを投入いただいております。

1) 勝山市

勝山市では教育委員会が当方の主旨を理解して頂き、2年目からのプール清掃、環境学習等々のEM関係の費用は、勝山市の方に請求できる事になりました。ですので、勝山市は近年中に全校にEMによる環境学習とプール清掃が出来る予定です。

また、勝山市の私立「わしのこ保育園」で、「さわらび会」の方々のご協力による有機農法産食材を使用した保育園昼食に挑戦できま

した。お米や野菜、そしてカレー粉や肉にもこだわり、カレーライスを作り食べていただきました。今年は同じく、寿しケーキに挑戦し、大変お喜びいただきました。



寿しケーキ

また、勝山市の私立「しらき保育園」でも「自然食の日」として調味料、野菜、卵、カレー粉、お米に至るまで無農薬無化学肥料にこだわりました。また、食品添加物も意識して食材を選び、カレーライスを食べていただきました。

2) 大野市

大野市の小学校では、プール清掃にEM活性液投入がきっかけで、学校給食の昼食に有機農法産の食材、またEM関連の食材を提供して一日だけですが、カレーライスに挑戦します。生徒は全校で60名くらいの小さな小学校で有機農法ではありませんが、独自でお米を作っております。公立校としては初めての挑戦ですが、一年に何日か、無農薬、無化学肥料、無添加の食材を提供したいと願っております。設立して約3年ですが、プール清掃から学校給食まで取り組むことが出来たのも、多くの方々のご協力とご理解があつてこそと感謝で一杯です。

3) 理解者のご協力を戴く

福井県民生協様からの2回の助成金、また福井県社会福祉協議会からの「まごころ助成金」また、三谷市民文化振興財団、また大本山浄土宗からも助成金のご協力を頂きました。そして私達の願いが、福井県全校に拡大される事を強く願い取り組ませていただく決意です。



子供たちの給食の様子



EM活性液をプールに投入



プール清掃する子供たち